

仙台市介護保険審議会 議事録

日時：令和3年8月25日(水) 15:30～16:40

場所：市役所本庁舎2階第1委員会室

<出席者>

【委員】

大内 修道委員，折腹 実己子委員，狩野 クラ子委員，栗山 進一委員，黒島 武志委員，
駒井 伸也委員，佐藤 善昭委員，清治 邦章委員，田口 美之委員，田中 伸弥委員，
土井 勝幸委員，原田 つるみ委員，森 高広委員，矢吹 知之委員，若生 栄子委員，
渡邊 純一委員 (16名，五十音順)
(草刈 拓委員，小坂 浩之委員，橋本 啓一委員，橋本 治子委員 欠席)

【事務局 仙台市職員】

加藤健康福祉局長，米内山保険高齢部長，大関高齢企画課長，菖蒲地域包括ケア推進課長，
小堺地域包括ケア推進課認知症対策担当課長，北村介護保険課長，山崎介護事業支援課長，
佐藤地域包括ケア推進課推進係長，對馬介護保険課管理係長，柿沼介護保険課介護保険係長

<会議内容>

1 開会

2 健康福祉局長あいさつ

3 委員紹介

事務局から各委員を紹介

4 市関係職員紹介

事務局から課長以上の職員を紹介

5 議事

(1) 会長及び副会長の選出

暫定で事務局が進行。仙台市介護保険条例施行規則第20条第1項の規定に基づき委員の互選により選出。

土井委員から，会長に栗山委員，副会長に矢吹委員を推薦する旨の発言があり，全会一致で決定。

(会長及び副会長あいさつ)

(以下，栗山会長による議事進行)

(2) 仙台市介護保険審議会の運営（案）について

北村介護保険課長から説明（資料 1，参考資料 1・2）

会議公開の確認 → 異議なし（傍聴者なし）

議事録署名委員について、大内委員に依頼 → 委員承諾

(3) 仙台市介護保険審議会の概要について

北村介護保険課長から説明（資料 2，参考資料 3）

<質問事項なし>

(4) 地域密着型サービス運営委員会及び地域包括支援センター運営委員会委員の指定

会長から地域密着型サービス運営委員会及び地域包括支援センター運営委員会の委員を指定。

<質問事項なし>

(5) 仙台市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の概要について

北村介護保険課長から説明（資料 3，参考資料 4～6）

<質問事項なし>

(6) 介護保険の実施状況について

北村介護保険課長から説明（資料 4）

<質問事項>

○栗山会長

資料 4 の 1 ページの「1 住民基本台帳人口の推移」を見ると、高齢化率はどんどん進んでいるが、2 ページの「(1) 要介護・要支援認定者数」を見ると増えていないように見える。これは介護予防ができていて健康寿命が延びていると思うが、いかがか。

○北村課長

多角的に見ないとなかなか一概には言えないが、高齢者の人口が増えると、要介護・要支援の認定を受ける方が増える傾向がある。資料 3 の 8 ページに本市の要介護・要支援認定者数の推移を掲載しているが、今後出現率は上がると試算しており、認定を受けられる方は、増えるの見込んでいる。

○駒井委員

資料 4 の 8 ページの「8 介護保険サービス提供事業所の指定状況」の居宅サービス事業所数について、居宅療養管理指導が平成 27 年が 12 か所、平成 28 年が 9 か所と来て平成 31 年が 9 か所とあるが、令和 2 年度と令和 3 年度は 0 か所になっている。これはどういうことか。

○北村課長

事務局で確認し、別途回答する。

○森委員

資料4の5ページの「6 介護保険料の収納状況」の滞納分の収納率について、令和元年度の31.3パーセントに対して令和2年度は38.9パーセントとアップしており、徴収の努力をしている結果だと思いが、今後収納率を上げるために、徴収の活動を強化する予定があれば教えていただきたい。

○北村課長

普通徴収に関しては、積極的に口座振替に勧奨しているところであり、成果も現れている。滞納者に関しても、分納などを勧めている。また、ペイジー口座振替の受付サービスの手続きも取り入れており、これらの取組みを引き続き積極的に行っていく。

○森委員

特別徴収は年金から差し引いているため、100パーセントの収納率は当たり前だが、普通徴収にこれだけの滞納があるということは、保険料の負担の公平性から見て、非常に問題があるかと思う。今後も収納率向上のための努力を続けていただきたい。

○折腹委員

資料4の8ページについて、居宅サービス事業所数の全体的な伸びと、地域密着型サービス事業所数の全体的な伸びを見ると、事業の背景があるかと思うが、どうしても地域密着型サービスが伸び悩んでいるように思う。ニーズに応じて事業所数は増えていくと思うが、全体的なバランスを見ながら指定していくと思う。地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護や、看護小規模多機能型居宅介護は、在宅で生活するうえで非常に有効なサービスだが、なかなか参画する事業所数が少ないように思う。次期計画策定に向けて力を入れていく方向性はあるのか。

○山崎課長

小規模多機能型居宅介護と看護小規模多機能型居宅介護は、7期計画期間でも伸び悩みがみられていた。現在、この状況を様々な方面から分析しており、報酬面や設置しやすい方策などを含めて検討している。課題として考えているため、しっかり検討してまいりたい。

6 報告

- (1) 地域密着型サービス運営委員会（第7期第8回から第12回会議及び第8期第1回会議）について
- (2) 地域包括支援センター運営委員会（第7期第8回から第11回会議及び第8期第1回会議）について
山崎介護事業支援課長、菖蒲地域包括ケア推進課長から説明（資料5～6）

<質問事項なし>

7 その他

- (1) 第7期（H30～R2年度）の審議経過
北村介護保険課長から説明（資料7）

<質問事項>

○森委員

資料が多くなっているが、事前送付と開催日までの期間が短いので、可能な限り早く送っていただきたい。

○北村課長

分かりました。

先ほどの居宅療養管理指導の件について、ご説明申し上げます。

○山崎課長

平成 30 年度の制度改正により、看護師による居宅療養管理指導が廃止されたことに伴い、居宅療養管理指導は、病院又は診療所、薬局といった、介護保険サービスの指定を受けたものとみなされる医療機関が実施している。そのため、居宅療養管理指導の指定事業所数は、令和 2 年度以降 0 件となっているものである。

8 閉会